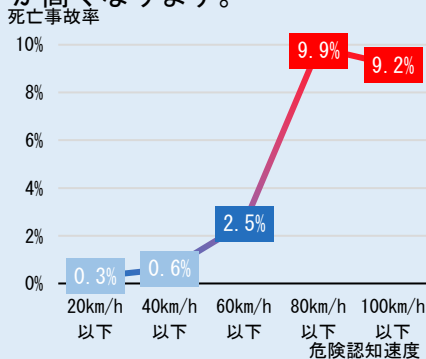


山梨県警察速度管理指針

適正な速度管理の必要性（H27～R6の交通事故発生状況）

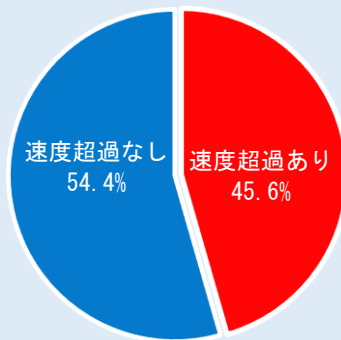
危険認知速度と死亡事故率

危険認知速度（※注１）が高くなると死亡事故に至る可能性が高くなります。



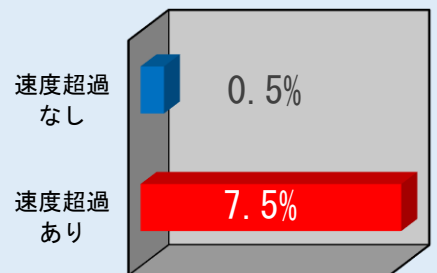
死亡事故における規制速度超過

死亡事故では、45.6%の事故が規制速度の超過を伴っています。



規制速度の遵守による被害の軽減

規制速度の超過を伴わない事故では、死亡事故に至る可能性が、規制速度の超過を伴う事故の約15分の1になります。



道路、地域等の特徴に応じた総合的な速度管理施策の例示

生活道路

- 目標
車両の速度抑制と抜け道利用者の流入抑制
- 施策の例示
最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスの組合せによる「ゾーン30プラス」の整備推進

都留市上谷地内（谷村第一小学校周辺）ほか各地区小学校周辺等

市街地

- 目標
円滑な道路交通の確保と夜間における規制速度の遵守
- 施策の例示
事故多発時間帯における可搬式オービス等による速度違反取締りの実施

甲府市中心部及び南部ほか各市中心部等

幹線道路

- 目標
円滑な道路交通の確保と規制速度の遵守による交通事故抑止
- 施策の例示
事故多発時間帯における速度違反取締りやレッド走行、立番等の街頭監視活動の実施

中央道、国道20号等国道及び主要県道等

生活道路、市街地、幹線道路における具体的な取組例

ゾーン30プラス（※注2）区域の例



市街地における交通取締りの例



幹線道路における警戒活動の例



例示した地域や路線以外にも、適正な速度管理のため、交通指導取締りや街頭活動等を実施します。

※注1：危険認知速度とは、交通事故の当事者になった自動車などのドライバーが、危険を認知して回避行動をとる直前までの走行速度のことをいう。

※注2：ゾーン30プラスとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保する目的で、区域（ゾーン）を定めた30km/hの速度規制とハンプや狭さくといった物理的デバイスとの適切な組合せにより、速度抑制等を図る生活道路対策をいう。